

委員会の所属任期は2年（現状）で 議会運営に関する検討委員会での結果

沼田市議会では、2年前の改選以前の「議会改革検討委員会」を発展的に継承し、改選後は「議会運営に関する検討委員会」において幅広く議会運営に関する改革を各議員から提出された意見を中心に、5つの項目別に計17件の問題を検討してきました。

3月議会の開催を早めることや現在午前10時の開会時間を9時にするなどの提案は、執行部側の対応なども含めて検討しましたが、現状でよいことになりました。原則非公開であった毎月の委員協議会は、原則公開に、陳情審査は委員協議会から常任委員会に移行することなど、開かれた議会をめざしての改革も実施される方向で、改選から2年目の今年の4月末をメドに最終結論をまとめます。

また、その後の改革検討は、通年議会や夜間議会などの検討を行っていくことの提案もされています。

新年度予算内示は今週の全員協議会で

沼田市の新年度予算内示は、8日の市議会全員協議会で行われます。先の総選挙で自民・公明政権が復活し、「コンクリートから人へ」という民主党の路線は中途半端に終わり、「人からコンクリートへ」という公共事業優先政治が復活、いっそう強まるもとでの予算編成になりました。



新年度予算と平行して12年度補正予算も国ベースで13兆円超という公共事業優先の景気対策予算といわれています。国は15ヶ月予算といっていますが、実際の事業執行は13年度中になるために、13年度の事業と重なります。群馬県は、新年度予算と補正予算の公共事業合計額が、昨年度に比べ1.5倍になりました。国の補助事業として実施されますが、市の負担も馬鹿になりません。今回の国の補正予算はほとんど借金ですが、市も事業全体の1割が直接負担、約3～4割程度が借金での負担となります。本当に市民にとって必要な公共事業なのかが大きく問われます。次号から詳細についてお知らせしたいと思います。

前橋市議選勝利へ！大演説会開催 市田書記局長が講演



左から長谷川、中道、市田書記局長、小林、近藤の各候補

全国的にも県庁所在地での今年初の議員選挙として、前橋市議選が2月10日告示17日投票で実施されます。日本共産党は定数5人減の中、現職5人を4人に絞って、必勝を期します。

1月25日には、前橋市議選勝利への大演説会が、市田書記局長を招いて前橋市民文化会館で開催され、約800人が参加しました。

椎坂トンネル11月に供用開始へ

白沢町と利根町をつなぐ国道120号線の椎坂峠をトンネル化する椎坂バイパスの工事が順調に進んでおり、予定より1年間早めて、今年の11月にもトンネル区間の供用開始をする考えを大沢県知事が示しました。



建設中の椎坂トンネル(昨年7月)

トンネル化は白沢側の椎坂白沢トンネルが1653m、利根側の椎坂利根トンネルが510mで、走行時間は積雪時で18分間短縮すると試算されています。

沼田市が人口最下位へ…県内12市中

国勢調査を基準とした県移動人口調査の2013年1月1日現在、沼田市は50,072人で、県内12市の中で最下位になりました。11位は富岡市で50,942人、1位は前橋市で、337,322人でした。

お詫び：前号の「人権無視の税務調査は許さない」の記事のなかで、「記帳を義務付け」と書くべきところを「貴重を義務付け」と間違えてしまいました。お詫びし、訂正させていただきます。

2013年2月10日 No.643

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料